

## ISO14001定期審査の実施



ISO14001 審査は、毎年受審することになっており、昨年度が新たなる3ヶ年の初年度となる認証取得のための更新審査を受審しておりますので、今年度は定期審査の受審年です。

8月23日(火)～8月25日(木)の2.75日間、2名の審査員による審査が行われます。

下の表は ISO14001 定期審査の具体的なスケジュールです。審査対象部局の皆様、関係者の皆様、ご協力よろしくお祈いします。

昨年度、定期審査の様子

### 目次

ISO14001更新審査の実施	1 ページ
内部監査員研修の実施について	2 ページ
エネルギー作業部会からのお知らせ	3 ページ
運用管理点検の実施	5 ページ

出雲キャンパスEMS実施委員会  
医学部及び附属病院  
EMS対応委員会

日時	チーム1	チーム2
8月23日 (火)	トップマネジメントインタビュー (学長, EMS事務局)	
	環境管理責任者インタビュー (病院長, EMS事務局, 内部監査責任者)	
	施設管理1(廃棄物, RI施設, PCB)	キャンパスアメニティ作業部会 生活系作業部会
	実験系作業部会	診療系作業部会
8月24日 (水)	医学部EMS対応委員会	附属病院EMS対応委員会
	施設管理2(エネルギー, 給水・排水施設)	環境教育・研究作業部会
	医学部1 (病態生化学)	附属病院1 (A病棟6階, B病棟6階)
	医学部2 (放射線医学)	附属病院2 (外来3階)
	医学部3 (法医学)	附属病院3 (検査部, 輸血部, 病理部)
医学部4 (医学図書館)		
8月25日 (木)	医学部5 (医学英語教育学)	附属病院4 (地域医療連携センター, 入退院管理センター)
	医学部6 (消化器・総合外科学)	附属病院5 (C病棟5階)
	医学部7 (総務課)	附属病院6 (C病棟6階)
	医学部8 (臨床検査医学)	附属病院7 (A病棟5階, B病棟5階)
	大学代表者報告会議 最終会議	

# 内部監査員研修及びスキルアップ研修を実施します。

株式会社テクノファから講師をお招きして、8月29日（月）、30日（火）に内部監査員研修を、31日（水）にスキルアップ研修を実施します。

内部監査員研修には10名の教職員と1名の学生が参加し、2日間にわたってISO14001規格要求事項などの説明から事例を基にグループで監査し合うケーススタディまで幅広く学習する予定です。最終日には理解度テストで力量を量っていただきます。

また、スキルアップ研修には、3名の教職員が参加し、従来の2日間コースから短縮された1日コースのプログラムとなり、濃密な講義とケーススタディによる内部監査を学習していただく予定です。

受講していただく皆様、よろしくお祈いします。

研修合格者の中から今年度の内部監査員として参加していただく予定です。

## 昨年度の様子

## ～内部監査員研修～



ケーススタディの様子



内部監査責任者  
橋本教授より一言



グループ監査の様子



## ～スキルアップ研修～

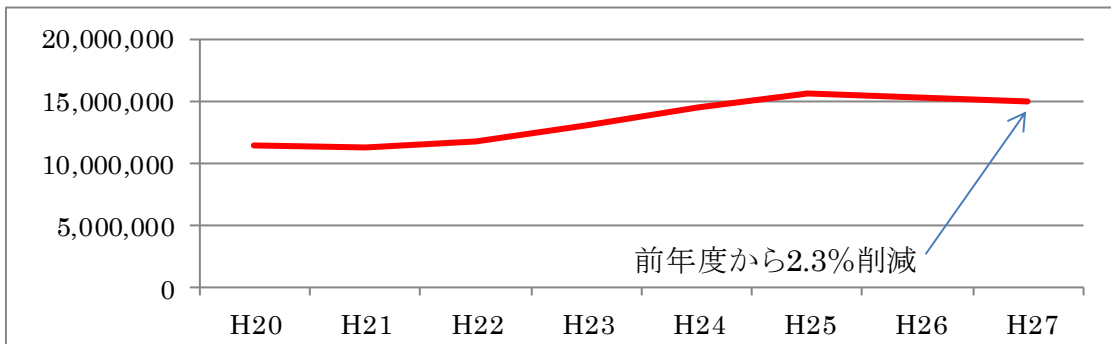


# エネルギー作業部会からのお知らせ

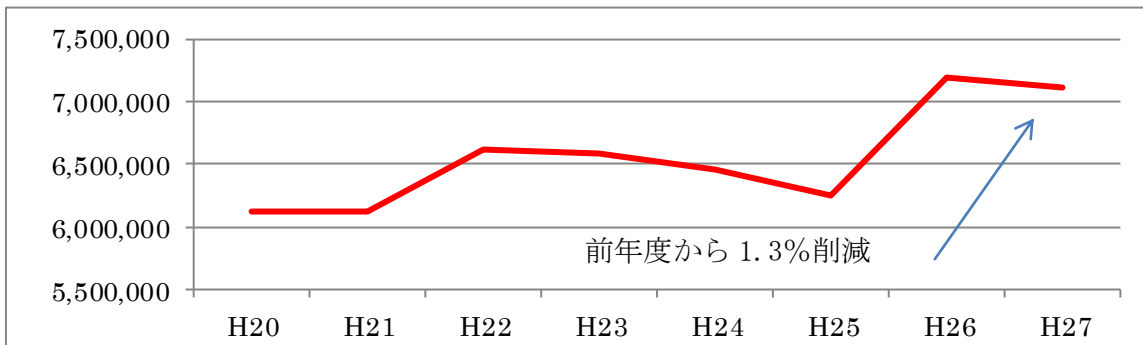
## 1. 出雲キャンパスの節電依頼について

平成 27 年度 7 月よりコストカットWGに於いて、省エネ啓発活動として、【出雲キャンパスの電力削減キャンペーン】を行いました。病院で 2.3% (348 千 kwh)、学部で 1.3% (94 千 kwh)、全体で 2.0% (442 千 kwh) の削減する事ができました。金額に換算すると、約 630 万円のコストカットです。今年度も電力削減キャンペーンを継続しています。引き続き節電にご協力をお願いします。

### 病院全体電力使用履歴



### 学部全体電力使用履歴



今年度は昨年の削減実績から【2014 年度比 3%削減】を目標にキャンペーンを行っています。電力消費は空調の割合が高く、気候の影響で大きく左右しますので、今年度は空調以外の電力も削減したいと考え、事務用パソコン機器、照明設備の不要な電力使用を抑えるアイデアを盛り込みます。パソコンの稼働率を約半分に節約すると空調を除く全体の電力使用量の約 3%の節電できます。金額にすると年間約 300~400 万円の節約となります。

出雲地区は大型の改修工事が一段落していますが、まだ老朽化した設備は残存し、省エネ機器の導入の予算要求も併せて行っております。

2016年6月

### 出雲キャンパス電力削減キャンペーン

2014年度削減目標 **3%削減**  
実率は**4.3%削減**

コストカットWGでは昨年7月より省エネの啓発活動として、【出雲キャンパスの電力削減キャンペーン】を行って来ました。病院で2.3% (348千kwh) 学部で1.3% (94千kwh) 全体で2.0% (442千kwh) の削減を達成する事が出来ました。ご協力ありがとうございました。金額に換算すると、約630万円のコストカットです。今年度も電力削減キャンペーンを継続します。ご協力をお願いします。

**病院全体電力使用履歴**

前年度から2.3%削減

**学部全体電力使用履歴**

前年度から1.3%削減

今年度は昨年の削減実績から【2014年度比3%削減】を目標にキャンペーンを行います。電力消費は空調の割合が高く、気候の影響で大きく左右します。昨年は気候が穏やかであった分、削減が容易に行われました。今年度は空調以外の電力も削減したいと考え、事務用機器、照明設備の不要な電力使用を抑えるアイデアを盛り込みます。また、出雲地区は大型の改修工事が一段落していますが、まだ老朽化した設備は残存し、省エネ機器の導入の予算要求も併せて行っております。おかげさまで、昨年度は電力使用量が大幅に削減出来ました。継続して目標達成にご協力をお願いします。

**7月の電力使用実績**

※7月の電力使用量が2014年と比較し、103.8千kWh減少しました。外気温の上昇にも関わらず減少したことで非常に良い成果です。

※中央空調室で削減に貢献する事により、空調および中央空調室の電力使用量にプラスマイナスの差が生じています。年度別削減率、実質削減は出雲地区全体の削減率に1.5%のため、電力使用量の上昇にも関わらず、今年度削減率は4.3%です。

**出雲地区外気温**

7月の平均気度は2014年と比較して高かった。

2016年比(増減) 7月電力使用量

項目	2016年比(増減)	削減率
空調	11,000	1.1%
照明	1,000	0.5%
事務用機器	1,000	0.5%
その他	1,000	0.5%
合計	14,000	1.6%

※削減率(%)は、削減率(%)×削減率(%)の合計です。

**今、私たちにできること。**

**節電**

エアコンの温度設定は26℃以上

照明は必要時にのみ点灯

パソコンは不要時は電源オフ

冷蔵庫の扉を開けっぱなしにしない

7月電力削減率 2014年と比較して4.3%削減 (電力量103.8千kWh)

## 具体的な節電対策

### (1) 空調設備

#### 【対策】

- 1) クールビズの徹底，強化
- 2) 室内温度管理の遵守（設定28℃）
- 3) 使用していない室の空調停止
- 4) フィルターの定期的な清掃（月1回）
- 5) 日射対策のためのブラインド，カーテンの活用
- 6) 室内温度ムラを解消するためのサーキュレーターファン・扇風機の活用
- 7) サーバー室の適切な空調温度管理
- 8) 実験用低温室・恒温室の適切な空調温度管理

### (2) 照明設備

#### 【対策】

- 1) 執務室の照明を業務に支障のない範囲で消灯
- 2) 使用していない室の消灯
- 3) 昼休みの完全消灯
- 4) 蛍光灯の間引き点灯の実施

### (3) OA 機器設備等

#### 【対策】

- 1) 席を離れるときは電源停止 モニターOFF
- 2) 電気ポット，コーヒーマーカー等の使用は極力控える
- 3) コピー機の省エネモード設定
- 4) 待機電力がある機器は元電源の停止
- 5) 洗浄便座の温水・暖房機能の設定を下げ，不使用时は蓋を閉める
- 6) 電子レンジ，冷蔵庫の集約化および使用停止

### (4) 教育研究等

#### 【対策】

- 1) 実験用冷蔵庫・フリーザー・製氷器の共同利用による台数削減
- 2) 実験用低温室・恒温室の共同利用による台数削減

## 3. 節電パトロールを行っています

エネルギー作業部会では今夏の節電対策の一環として，昨年度と同様に7～9月にかけて，学部の建物を対象に冷房の設定温度，居室不在時の無駄な照明・冷房運転の有無等を確認するため，節電パトロールを行っています。

現在全体の半数の部屋を巡回いたしました，エアコン設定温度が目標値の28℃であった部屋は，は少なく，環境への配慮，節電等の意識が薄いと感じられる部屋もありました。

例年，皆様方には日頃より節電等の省エネルギー活動にご協力をいただいているところですが，教育・研究に支障をきたさない範囲で具体的な節電対策を参照し，更なる節電にご協力をいただきますよう，よろしくお願ひします。



# 7月期運用管理点検実施しました。

EMS 推進員の皆様にご協力いただき、7月期の運用管理点検を実施していただきました。  
運用管理点検の内容項目は、生活系、エネルギー・CA系、実験系（実験室のある部署）、診療系（診療行為のある部署）に分かれており、それぞれに該当する項目についてEMS推進員の方に回答していただきました。

回答率は医学部：64.8%、附属病院（看護部除く）：52.1%、附属病院（看護部）：51.2%と低めでした。次回の運用管理点検はH28.1月に実施しますので、EMS推進員の方は部署内でEMS活動を周知していただき、運用ができていますかどうかチェックしていただきますよう、ご協力のほどよろしくお祈いします。

## 第一種特定製品の自主点検をお願いします。

平成27年4月1日から「フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律」（略称「フロン排出抑制法」）施行され、業務用空調機・業務用冷蔵冷凍庫・製氷機等フロン類（種別ではCFC, HCFC, HFCで表記されているものです）が使用されている全ての機器を対象に日常的な定期点検（四半期毎に1回）を、一定規模以上の機器については専門的な知識を有するものによる定期点検が義務付けられています。

出雲キャンパスでは昨年、各部署のEMS推進員に基本調査を行い、日常的な定期自主点検が必要な機器を順次確認しております。点検そのものは専門的な知識がなくてもできますので該当機種を有する各部署においては四半期毎の点検をお願いします。

※点検表は下記HP内に掲載しています。

TOP > 学内コンテンツ > 出雲EMS関係 > 学内関係規則、マニュアル等（出雲キャンパス）

## EMS事務局からのお知らせ

EMS事務局では、みなさんから**省エネのアイデアを募集**しております。

我が家での成功例など大学での省エネに有効なものがありましたら以下のEMS事務局までお寄せいただきたいと思います。ご協力をよろしくお祈いします。

学内関係者用には、EMS関係会議の議事録、EMS研修の資料、環境に関する諸規則・マニュアル等が参照できますのでご利用ください。

その他、EMSに関するご意見等ございましたら、以下の連絡先又はホームページ「キャンパス環境投書箱」へお寄せください。

- 島根大学出雲キャンパスEMS事務局  
財務部施設企画課（出雲）環境マネジメント担当  
TEL 0853-20-2549  
FAX 0853-20-2049  
E-Mail [fpd-ikankyo@office.shimane-u.ac.jp](mailto:fpd-ikankyo@office.shimane-u.ac.jp)

- 島根大学ホームページ「環境マネジメントシステム」  
出雲キャンパスでのEMS活動内  
キャンパス環境投書箱  
URL: <http://www.leaf.shimane-u.ac.jp/enquete/no/SVkljsVv0n>

